

鎌ヶ谷市きらりホール運営委員会 平成29年度第1回会議 会議録

日 時：平成29年7月21日（金） 午後3時00分～午後5時00分

会 場：きらり鎌ヶ谷市民会館内 中央公民館 学習室4

出席委員：平栗三男委員長、齋藤譲一副委員長、関和久委員、小林修一委員、
清水暉允委員、内山治委員、伊藤眞由美委員、植草ひろみ委員、
小川由美子委員、石井圭子委員、佐瀬光代委員、加藤嘉美委員、
渡部克弘委員

事務局（市民会館）：吉野生涯学習部参事（事）市民会館長、平澤主査、
萩原主事 ※市民会館長は、第6号委員でもある。

傍聴者：0人

1 委嘱状交付式

- (1) 委嘱状交付
- (2) 教育長挨拶
- (3) 委員自己紹介

2 第1回会議

(1) 議題

①第1号議案「委員長、副委員長の選出について」

委員間の互選により、委員長は平栗三男氏、副委員長は齋藤譲一氏に決定。

②委員長、副委員長就任あいさつ

③会議録署名の選出について

鎌ヶ谷市きらりホール運営委員会委員名簿の上から順番という慣例により、関委員、小林委員に決定。

④第2号議案「平成28年度きらりホール事業報告」について

～事務局より、資料1に沿って説明～

委 員： 事業報告では入場者数が公表されていませんが、事業の検討材料とするためにも公表していただきたいです。また、アンケートは良い意見だけでなく辛口の意見も記載してください。

事務局： 次回からは、皆様からのご意見を参考にして資料を作成します。

⑤第3号議案「平成29年度きらりホール事業報告」について

～事務局より、資料2に沿って説明～

委 員： 「アーティスト発掘プロジェクト」は素晴らしい催しでした。参加者の年齢も幅広く、ホールで歌うこと自体を楽しんでおられ、観客が感動するような意気込みを感じました。これから更に発展して、日本中から参加者が集まるプロジェクトになれば嬉しいです。

- 委員： 受賞者へのフォローをしっかりとしてあげてください。ホールがバックアップして毎年イベントを組めば、今後も繋がっていくと思います。受賞者がクローズアップされる枠を作らなければ、「受けない」と思われませんか。
- 委員： 芸術文化協会の芸術祭で、皆に観てもらうことはできませんか。
- 委員長： 検討させていただきます。
- 委員： プロジェクトの告知方法と告知期間を教えてください。私は **facebook** で結果報告を見るまで、この事業を知りませんでした。参加者はどのようにして集まったのでしょうか。
- 事務局： 市の広報、ホームページ、**facebook**、**twitter** を利用し、また、ホールや公共施設でのチラシ配布を行いました。予算上、告知開始時期が4月になってしまいましたが、募集及び告知期間が短かったと感じています。2回目以降は、今回の反省を活かし、実施時期をずらして、どなたにも分かるような周知方法を考えます。
- 委員： 取材はありましたか。
- 事務局： **J:COM**、船橋よみうりから取材を受けました。
- 委員： 「きらり通信」を作って、事業の結果報告をニュースとして回してはいかがでしょうか。きらりホールを知らない人はまだ多く、来てみて初めて「良いホールだ、こんなことをやっているのか」ということを知るようです。お金を掛けずに、多くの人に伝達する方法を考えなければならないと思います。
- 委員： 2回目の実施時期とジャンルは決まっていますか。
- 事務局： 時期はまだ決まっていません。来年度の6月に、2回目の募集告知を兼ねて、今年度受賞者のコンサートを行う予定です。2回目は秋以降の実施になりますが、ジャンルは未定です。皆様からご意見を頂戴したいと思います。
- 委員： 音楽、ダンス、シニア、学生と、様々な切り口で実施できると思います。単発でやるのではなく、長期計画を作り、今年はこちら、来年はこちら、と反省を生かしながらやっていけば良いのではないのでしょうか。
- 委員： **facebook**、**twitter** のフォロー数はどの位だったのでしょうか。情報は一方的に載せているだけででしょうか。書き込みはありますか。
- 事務局： 情報を載せているだけで、400件程度のアクセスでした。書き込みはなく、「いいね！」の反応があるだけです。
- 委員： きらりホールのホームページにリンクを貼ることはできないのでしょうか。
- 事務局： ホームページ開設当初はできなかったのですが、数年経過しているので、もう一度確認してみます。
- 委員： 先日、岐阜の中学校で、地元ホールからのアウトリーチ事業として、公演ではなく授業を行いました。子供たちへの情操教育に良いだけでなく、ホールの観客を育てることに繋がります。大変盛り上がり、素晴らしい授業になりましたので、このような事業を地道に行ってみてはいかがでしょうか。

委員： 鎌ケ谷市出身の先輩アーティストが来校したら、関心も高まり、将来の目標になるので良い取り組みだと思います。

⑥第4号議案「平成30年度きらりホール事業計画（案）」について

～事務局より、資料3に沿って説明～

委員より、別紙3に沿って企画提案

委員： 別紙3「こんな歌で僕らは育った」は、きらりホールでも2回ほど公演しましたが、平日の昼間でもシニア層400名ほどの集客があり、大変好評でした。是非きらりホールの主催事業として実施していただきたいです。

委員より、当日持ち込みの企画提案

委員： オフコース鈴木康博（やすひろ）のアカースティックライブを提案します。多額な金額でなくても呼ぶことができ、各地のファンが集まるので集客も期待できます。皆様に幅広い歌を聴かせることができるので、実現できればと思い、企画を提出します。

委員長： その他、ご意見はございませんか。

委員： きらりホールは、市民に対してPRが弱いと感じています。例えば、市民ミュージカルを観に来られなかった人向けに、集会室等でミュージカルを無料上映して欲しいです。

また、2020年7月24日～8月9日に東京オリンピックが行われますが、開会式と閉会式の様子をホールでパブリックビューイングできたらいいと思います。さらに、旧ユニオン通り「街かど美術館」に小中学生が描いた競技の絵を展示して、ホールで関連イベントを行うなど、鎌ケ谷市も「東京オリンピック・パラリンピックを応援しています！」という方向で計画を立ててはいかがでしょうか。

事務局： 校長先生方に質問ですが、小中学生がワークショップなどに参加しやすい時期はいつ頃でしょうか。

委員： 特に7月20日からの3～4日間は、夏の大会で3年生は忙しいです。それ以降であれば、夏休み期間中は平日も含めて問題ないと思います。また、冬休みや春休みも大丈夫です。ホールと積極的に関わりたいと思いますので、声をかけてもらえればありがたいです。

委員： 今までスポーツ選手が学校へ来てくれる例はありましたが、芸術版もぜひ行いたいです。受け入れ態勢はできていますが、7月一杯は学校行事があるので避けていただきたいです。

委員： 委員の私でも知らないことが多いので、一般の人は尚更知らないと思います。ホールの情報を浸透させることが非常に重要です。皆さんの意見を聞き、より活性化させていくことが大切です。

委員： アウトリーチの時期について、中学校の合唱コンクール前に、声楽の先生

- に発声の指導等をしていただければ、子ども達のやる気も出て良いと思います。
- 委員： 滋賀のアウトリーチも合唱祭前だったので、課題曲のピアノ譜を弦楽四重奏で演奏しながら、子ども達が歌うというプログラムでした。
- 委員： 私は、第三中学校の合唱祭の審査員や、中部小学校卒業式の歌唱指導に伺っています。また10月には、北部小学校の芸術鑑賞教室への出演を依頼されており、やはり皆で一緒に歌うコーナーを作りたいとされています。
- 委員： 学校によって状況は違うでしょうが、最初のステップは学校で行い、その後はきらりホールで何かを実施できたら良いと思います。
- 委員長： 鎌ヶ谷市芸術文化協会では、西部小と初富小に年10回程度伺い、学校と協会とが協力して事業を行っています。芸術祭では、西部小と連携しておしゃらく踊りを行いました。とても良い取り組みでした。芸術文化協会の先生方は忙しいのでなかなか手が回りませんが、きらりホールと結び付けて何かできれば、と思います。
- 委員： 横浜みなとみらいで、「避難訓練コンサート」というものを実施しています。館職員は日頃から避難訓練を行っていると思いますが、私は、実際に地震や火事が起こった場合のことを考えると不安に感じます。このコンサートは、お客様を巻き込んで避難訓練を行い、ホールに戻ってからゆっくりと演奏を聴くもので、大変興味深いと思いご紹介いたします。
- 委員： 「鎌ヶ谷市民まつり」ときらりホールは何か関わりがあるのでしょうか。
- 委員： 関わっていません。ホールのPRになるので「ダンスや音楽などは、市役所広場ではなくホールでやった方が良い」と市民まつり実行委員会で提案していますが、人手が足りないと断られています。当日ではなく「前夜祭」として実施するなど、ホールと連動できないものかと考えています。
- 事務局： 昨年度、市民まつりの日にピアノコンサートを実施しましたが、相馬の武者騎馬行列の時間と重なり、お客様が集まりませんでした。お客様が分散してしまうので、今年はわざと事業の日時をずらしています。よほどのイベントでないと、人は集まらないと思われます。
- 委員： ワークショップは、なぜ小学生ではなく、中高生向けなのでしょう。
- 事務局： 小学生は募集すれば集まりますが、中高生は普段ホールに来ないので、わざとその年齢層を狙いました。
- 委員： 小学6年生は職場見学などをしているので、それに当てたらよいのではないかと思います。
- 委員： 平成30年度のテーマについて、東京オリンピックの前年なので、スポーツやオリンピック、パラリンピックなどをテーマにした映画会や催しを行ったら良いのではないかと考えます。
- 委員長： ほかに無ければ、ここで第1回会議を終了とします。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違のないことを証するために次に署名する。

平成29年 8月 16日

氏名 関 和久

氏名 小林 修一